**説教20230402フィリピ2：5-11マルコ15：1-15「固執と従順」**

**今の世の中は、なんと言いますか、一つの時代が終わろうとしている、しかも、世紀末的な色彩を帯びて、何もかもが本当に終了してしまうのではないかとも、つい思ってしまいます。それで絶望感を抱いてしまう方々もおられます。**

**何か今の世界は、ごく少数の、頭がよくて、倫理観はないリーダーたちが支配して牛耳っているのだとみる方々もおられます。でもこの見方は、正しいとしてもそうだからどうするの、と言った改善策が見出せない見方のようにも思われます。なぜなら、それらの倫理観がない悪い支配者たちを追い落とせば、この世界がよくなっていく、とはとても思えないからです。**

**今の世界は、空気に支配されているのだともよく言われます。特定の支配者がいるわけではなく、なんだか知らないけれどその場の空気や雰囲気に支配されて、そこに同調圧力が働き、忖度する心が働いて、知らないあいだに全員が、悪い方向へと導かれていくのです。**

**こちらの見方のほうが、私たちが思いを巡らして、よい方向へと導かれていくために必要な情報を提供してくれるようです。**

**私たちは、今の世紀末的な世界に身を置いて、動揺して焦りを感じ、何とかしなければともがいてしまいます。私たちは、今、崩れ落ちつつある橋の上で暮らしているとたとえられるでしょう。今迄の価値観にしがみついて固執していても、心の平安や満足は得られません。その価値観自体が最早崩壊し、自分を支えるだけの価値を失ってしまうからです。しかしそんな今だからこそ、焦りは禁物で、私たちはイエス・キリストと言う救いの岩にすがりつこうではありませんか。イエスキリストは、崩れ落ちる世界の最も低いところに居られて、この世界全体、そして私たちが崩れ落ちないようにと、２４時間年中無休で、支え続け守り続けていて下さます。イエス・キリストはそのように私たち人間全員の救いの岩となって、この世界が崩れ落ちないように守っていて下さいます。イエス・キリストはこの世のまことの支配者でもありますが、キリストの御支配は、上から威張ってなされるのではなく、自分は最もへりくだって、全ての人の下にあって、なされていることであります。**

**私たちはそんなイエス・キリストのことを忘れてしまったり、又キリストに感謝と賛美を捧げることが出来なくなってしまいますと、自分自身を誇るようになり自分自身が小さな支配者となり、かえって崩れ落ちてしまいます。**

**今の世の中の風潮を見て、ある方が「今だけ金だけ自分だけ」と的確に評されましたが、これは何も偉そうにしているだけで仕事をしない国会議員さんたちだけを揶揄しているのではなく、イエス・キリストのことを忘れている全ての人たちのことを言っているのだと思います。なぜならイエスキリストはこの「今だけ金だけ自分だけ」の人間に当てはまらないただ一人のお方であるからです。**

**私たちには程度の差はあるとしても誰しも多かれ少なかれこの「今だけ金だけ自分だけ」にはまり込んでいく傾向があります。なぜならこの「今だけ金だけ自分だけ」に固執することは一見確実な道に見えるからです。それは何も悪意を持ってそうするのではなく、非常な正義感や確信をもって行われることもあるでしょう。又、知らないうちに無自覚の内にその道へと歩みを進めてしまうこともあるでしょう。**

**イエスキリストは「今だけ金だけ自分だけ」とは逆のお方です。イエスキリストは今だけの幸せを与えて下さる方ではありません。キリストは今もそして世を去った後の私たちの幸せをも保証して下さいます。キリストは本当にお金が有効に使われる道を御存じであり、私たちがお金に固執する愚かさを戒められます。キリストは私たち人間が自分だけ或いは自分たちだけのために生きることで、かえって他者との豊かな関係性を失っていくことを良く御存じであります。**

**この教会はイエス・キリストで満ち満ちている処ですが、教会でよく言われるのは「聖書だけ、信仰だけ、恵みだけ」ということです。この教会における３つの「だけ」は、つまり、イエス・キリストの言葉であるこの聖書だけを信じて生き、生活していけば、キリストはあなたに全てを恵んで下さり、この世における死と、それから復活の永遠の命をも恵んで下さるということであります。**

**この「聖書だけ、信仰だけ、恵みだけ」がすぐには飲み込めない時は、是非、教会はイエスキリストだけをほめたたえる処、と覚えて頂ければと思います。**

**さて、今日の今日のマルコ福音書の箇所には、私たち人間が救い主イエス・キリストのことを忘れ、憎しみさえ懐いて十字架に付けてしまった成り行きが描かれています。イエス・キリストはほめたたえられるどころか、全員から憎まれ十字架へと掛けられてしまいます。ローマ総督ピラトは言いました。「いったいどんな悪事を働いたというのか。」この述懐は、激しく怒り狂う民衆に対する、素直な述懐だったのではないでしょうか。民衆たちは、それまでにイエス様が各地で病気の人を癒し、死者をもよみがえらせて下さっとことを見聞きして、このキリストこそを自分たちの王様に頂こうと期待をしていました。そして、この時にこそ、キリストはこの世の王座におつきになって、私たちをすぐに幸せにしてくれるだろうと期待をしていたのでした。ところが時の支配者である祭司長や長老や律法学者や最高法院全体の人々は、キリストがこの世の支配者になる事をねたんで好まなかったので、キリストにあらぬ罪を着せて死刑を宣告したのでした。**

**私たちはこの十字架の場が、「今だけ金だけ自分だけ」に固執する雰囲気に満ち満ちていたことを想像するに難（かた）くありません。期待を裏切られた民衆は興奮し、その時限りの熱狂に身を委ね、祭司長たちは打算によって、イエスを引き渡し、みんな声をそろえて「十字架に付けろ」と叫んでいながらその心はバラバラで敵対しています。**

**そんな人々に対してキリストは、もはや何もお答えになられませんでした。イエスキリストは沈黙されました。もはや人々が何も御言葉を聞くことが出来ない時が訪れました。**

**私たちは受難週に入り、いよいよ来主日のイースターに臨みますが、そんな今こそこの主イエスの沈黙について思いを巡らしたいと思います。**

**この聖書はイエス様の御言葉で満たされています。その一つ一つの御言葉が私たちの救いの御言葉であります。その言葉を信じて、イエスキリストに従順に従って歩み始める時、私たちには恵みがもたらされるようになります。苦しみや悲しみをも与えられた恵みとして素直に受け入れることが出来るようにされます。**

**しかしながら私たちが、この世の「今だけ金だけ自分だけ」になびいてしまいますと、私たちはキリストを忘れ、キリストの言葉を聞くことが出来なくなってしまうでしょう。この様にキリストが沈黙してしまった、と言うのはその言葉を聞く私たち次第であるとも言えるでしょう。**

**私たちはこの世にあって、とかくバラ色の人生、目に見える称賛、画期的な業績や達成を追い求めてしまいます。この世に画期的なリーダーが登場して、自分たちをぐいぐいと引っ張って行ってくれて、みるみる私たちの幸福感をアップしてくれると言ったシナリオを追い求めてしまいます。しかし、今日の聖書箇所を読みますとそのような、この世での私たちの期待や態度が、キリストを十字架に掛けることになったということがわかって来るでしょう。そしてそのような私たちに対してはキリストは沈黙されるのです。**

**今日のフィリピの信徒への手紙には、私たちのリーダーであり支配者であり主であるイエスキリストの有様が描かれています。初めに申し上げました通り、イエスキリストは崩れ落ちるこの世界の最も低いところに居られて、この世界全体、そして私たちが崩れ落ちないようにと、２４時間年中無休で、支え続け守り続けていて下さる支配者であります。その御姿は上に立って華々しく私たちを引っ張ていって下さる姿ではありません。そうではなくて崩れ落ちる橋のたもとで、泥まみれになって、傷つけられて血まみれになって、そうして死に至るまで、この世界を崩れ落ちないように保たれるという支配者であります。この様に説教してまいりますと、本当の支配者が誰かと言うことは、人から教えてもらって初めて分かることであり、最初から全ての人に知られている訳ではないことがわかるでしょう。私たちが死を乗り越えて、永遠の命へと完成されるということが、このへりくだったまことの支配者イエスキリストの死と復活を知り、私たちがそのイエスキリストに従順についていくことによって完成されるのだということがわかってくることでしょう。**

**キリストご自身も、世の救いを人々に教えるために、父なる神からこの世へと遣わされた御方であります。キリストご自身も父なる神に言われた通り従順に、へりくだって十字架にかかり、死なれたので、今やキリストは復活し、何物にも勝る光の内に居られるのです。**

**フィリピの信徒への手紙2：10以下**

**こうして、天上のもの、地上のもの、地下のものがすべて、イエスの御名にひざまずき、**

**すべての舌が、「イエス・キリストは主である」と公に宣べて、父である神をたたえるのです。**

**私たちが崩れ落ちるのを最も低いところで支え守っていて下さるイエスキリスト。その姿は、私たちが主イエスの前に自分の思いや願いを慎み、沈黙し、そのうえで静かに主イエスの御言葉に聞き、それに聞き従って行くことによって、はじめて隣人に伝わっていくのです。私たちは道を間違えて、自分の思いや願いを声高に叫んでいてはかえって主イエスは沈黙をされてしまうのです。**

**静かに主イエスの御言葉に聞き、それに聞き従って行くことによって私たちは間違いなく主イエスから多くの豊かな恵みを頂けます。そして自ずから口をそろえて、主イエスキリストに感謝をして、キリストを賛美する救われた神の民として栄えていくことが出来るのです。**

**祈り**

**天に居ます私たちの父なる神様、この受難の主の日に、私たちに穏やかな春の日を与えて下さり感謝します。あなたは全ての人に恵みを与え、私たちが苦しみを克服し、永遠の命の喜びに至ることが出来るよう、今一人ひとりに必要な物事を与え続けていて下さいます。まことの支配者であるあなたは、この世のもっとも目立たないところ、苦しみに満ちた処から、私たちを常に支え守っていて下さいます。私たちがそのようなあなたに気付いて、あなたのうちに私たちが共にいて、お互いを支え合う者とならしめてください。**

**あなたは私たちの救いの岩です。あなたの御元に隠される時、私たちは心休まり、その都度、救われています。どうか最後まで、私たちがあなたの救いの道を反れることなく、私たちを導いて下さい。**

**あなたの一人子イエス様の受難の日が近づいて来ました。彼の受けた傷によって私たちは癒されました。今、御子イエスは天に居られて、私たちを復活の命の光で絶えず照らしていて下さいます。私たちがこの世の深い闇の中で、そのまことの光よりの光である御子イエスキリストのほうに向かって歩み出すことが出来ますよう、恵みをお与えください。**